

授業科目名	特別活動論	授業形態	講義	授業科目区分	教職科目 (教職)		
担当教員名	浜田 幸史・梶 ちか子・鷗木 親志			補助担当者名			
単位数	1 単位	履修年次	2年次	受け入れ人数	180名程度		
授業の概要	<p>集団生活を営む学校において、集団活動や体験的な活動を通してよりよい人間関係形成能力を育成する特別活動は、「学級活動」、「生徒会活動」、「学校行事」から構成されている。この活動は、社会に参画するために必要となる自主的・実践的な態度や自治的能力を育成する観点からも重要な要素を含んでいる。本授業では、特別活動の趣旨、その目的、具体的な活動内容や教育課程上の位置付けなどについて、基礎的な理解を深めながら教師の適切な関わり方など学校生活における実践的な取組を学ぶ。</p>						
授業の到達目標及び成績評価の方法	授業の到達目標		成績評価の方法				
	D Pで 目指す 資質・ 能力	一般教養・倫理、専門的な知識・教養 (一般教養・倫理、専門的な知識・教養 (指導者基礎力))	授業期間		定期 試験	割合 %	
			授業	テスト			発表
		認知的領域	・特別活動の意義について、理解を深めている。 ・特別活動を構成している「学級活動」、「生徒会活動」、「学校行事」の特質について、基礎的な知識を身に付けている。				50
		情意的領域	・特別活動の意義等の理解に向けて、意欲的に取り組もうとする。(積極的な取組、学習ノートの作成)				30
技能的領域	・特別活動についてテーマを絞り、実施のための具体的な計画を立案し作成することができる。				20		
成績評価の基準	定期試験、授業への出席態度及び計画立案能力とレポート課題等により、上記3領域に示した割合で総合評価する。また、3回欠席した場合は、定期試験の受験を認めない。						
テキスト、教材参考書	テキスト ・文部科学省「中学校学習指導要領解説(特別活動編)」及び「高等学校学習指導要領解説(特別活動編)」						
履修条件・関連科目	教職科目全般	備考(教員メッセージ含む)	よりよい人間関係形成能力を育成する特別活動は、集団活動や体験的な活動を通して育まれます。その特別活動が学校においてどのように位置付けられているかを理解し、具体的にどのような活動が行えばよいのかについて考えていきます。教師を目指す者にとっては大切な内容になります。 ○実務経験のある教員による授業科目：学校現場における教員経験者				
オフィス・アワー	随時：浜田(研究棟6階608教員研究室)						
授業計画							
回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	浜田 幸史 鷗木 親志	特別活動の教育課程上の位置付け	授業内容の復習(30分)				
2	"	特別活動に期待される教育の効果	授業内容の復習(30分)				
3	"	学級活動について	授業内容の復習(30分)				
4	"	生徒会活動について	授業内容の復習(30分)				
5	"	学校行事について	授業内容の復習(30分)				
6	"	特別活動をデザインする(テーマを基に実施計画を作成する)	授業内容の復習(30分) 実施計画の作成(2時間)				
7	"	特別活動への教師の適切な関わり方	授業内容の復習(30分) 通信物の作成(2時間) 学習ノート評価				
8	"	全体のまとめと学期末試験	学期末試験内容の復習(1時間)				